

謡舞奏 でいい、 そして、 祈り。

宮北千織「天の川」(足立美術館蔵)

藝大21
美人
2021
和楽

東京藝大邦楽陣が
総力をあげて贈る
日本古典芸能の粋――。

いにしえ 古の花

能『翁』(宝生流)

※上演時間約六十分(途中ご入場いただけます)

*

箏曲『さらし』(山田流)

尺八『岩清水』(都山流)

長唄『越後獅子』

雅楽『延喜楽』

箏曲『尾上の松』(生田流)

仕舞『猩々』(観世流)

日本舞踊『正札附根元草摺』

出演：東京藝術大学音楽学部邦楽科教員 他

制作統括：萩岡松韻 舞台監督：増田一雄(東京舞台美術)

主催：東京藝術大学演奏藝術センター／東京藝術大学音楽学部

助成：公財朝日新聞文化財団／公財文化財保護・芸術研究助成財団

東京藝術大学澤和樹学長学術研究基金／東京藝術大学同声会

◆藝大フレンズ賛助金助成事業

2021年7月31日(土) 13時開演(12:15開場) 東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

全席指定：S席5,000円 A席4,000円 ■当日券の販売はございません ■終演は17時頃を予定しております

【チケット取り扱い】

- ヴォートル・チケットセンター TEL.03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>
- チケットぴあ TEL.0570-02-9999 <https://t.pia.jp> (Pコード 198-700)
- 藝大アートプラザ(店頭販売のみ) TEL.050-5525-2102
- 東京文化会館チケットサービス TEL.03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/tickets>
- イープラス(e+) <https://eplus.jp>

お問い合わせ

- 東京藝術大学演奏藝術センター TEL.050-5525-2300
- 東京藝術大学ホームページ <https://www.geidai.ac.jp>

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、最新情報は東京藝術大学ホームページをご覧ください。

※就学前のお子様の同伴・入場はできません。

※新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、公演の開催・内容・出演者などは予告なく変更となる場合がございます。最新の情報を藝大ホームページでご確認ください。公演に際しては出演者・スタッフの体調管理、入場者数の制限や換気など必要な感染対策を取り実施いたしますが、ご来場のお客様にも「体調管理・手指消毒・マスク着用」など、感染対策へのご協力をお願いしております。なお「37.5度以上の発熱、咳・呼吸困難、全身の倦怠感その他の体調に不安のある方」「新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方」「マスクを着用されない方」その他主催者の判断により入場をお断りいたします(感染対策の詳細は藝大のホームページ、会場掲示または当日配布のご案内などを参照ください)。

和楽の美2021『古の花』

いにしえ

「和楽の美」は、2002年5月3日の第1回『熊野の物語 — 日本人として残したいもの』より、『邦楽による絵巻物』として「邦楽に馴染みのない方々にも親しんでいただく」意図のもと続けられ、本年で20年目を迎えました。

いよいよ今回は、伝統音楽《古典篇》として、いずれも大曲、稀曲、名曲を選びました。本公演で「日本古典芸能の神髄」をご鑑賞いただきたく存じます。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

「和楽の美」制作統括 萩岡松韻



至上の能 ^{おきな}翁 の上演 — 能にして能にあらず

今回の「古の花」では、能演目としては別格と位置づけられ「能にして能にあらず」とも語られる『翁』^{おきな}が上演されます。元来は上演演目の初めに演じられていましたが、やがて独立した演目となり、現代においては単独の上演でさえ貴重なものとなっています。舞台下手（向かって左）奥の「鏡の間」に始まり、この演目だけに定められた特別な決まりごとを多数伴う、まさに至上の演目と言えます。

「翁」は遙か古の頃から伝わる曲で、その歴史は謎に包まれています。特にストーリーは存在せず、演者は神となって「天下泰平」「国土安穩」といった寿福を祈って舞う、ひとつの神聖な儀式なのです。東京藝術大学奏楽堂が、荘厳で神々しい空間と化するこの舞台にぜひご期待ください。

※『翁』の上演は、演目の特性上、開演時刻（13時）に始まり、およそ60分の上演時間中に途中入場いただけません。お時間に余裕をもってご来場ください。

【主な出演者】

「翁」

翁・武田孝史

三番叟・野村萬斎

千歳・田崎甫

面箱・野村裕基 ほか

「さらし」

萩岡松韻（箏）

富山清琴（三絃）

「岩清水」

野村峰山／藤原道山（尺八）

「越後獅子」

東音味見純

杵屋秀子（唄） ほか

東音瀬川靖代（三味線） ほか

盧慶順

望月庸子（邦楽囃子） ほか

「延喜楽」

三浦元則／八槻純子 ほか

「尾上の松」

上條妙子（箏） ほか

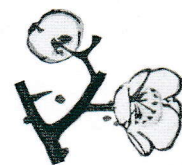
青木鈴慕（尺八）

「猩々」

藤波重彦 ほか

「正札附根・元草摺」

花柳輔太郎／花柳輔瑞佳 ほか



表面「天の川」（足立美術館蔵）作者
宮北千織（みやきたちおり）
日本画家。東京藝術大学美術学部准教授。
同学大学院修了。鮮やかな色彩と気品ある
人物表現で高い評価を受け、各日本画展
への出品を始め幅広く活躍中。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

■ JR上野駅（公園口）・鶯谷駅（南口）、東京メトロ千代田線根津駅 より 徒歩10分

■ 京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅 より 徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

